

4 帰り道 ○

主人公が告白未遂

『っあー』

楽しかったー!』

『せーんぱいつ、  
どうでした?』

『今日のお買い物は』

『ふっふっふ、

そうでしょうそうですね

なんとって私が一緒にいるんですからね』

『楽しくないわけじゃないですよ

あいたっ、なんでチョップするんですか!』

『わわっ、や、やめっ

髪をわしゃわしゃしないでください!』

『もう、女の子の髪は繊細なんですよ!』

『するならなでなでにしてください  
ほら、どうぞ』

『ふふん♪』

『このくらいでいいです、  
ありがとうございます。』

『そーいえば先輩

実は服を選んでもらった時からずっと聞きたいことがあったんです』

~~~~~

『どうしてあそのポイントカード持ってたんですか？』

『だっておかしいじゃないですか』

あそこレディースへ割のお店ですよ

先輩が通ってるとは思えません』

『はいそこ嘘つかない』

それに、私が見た時は発行日昨日ってなっていましたけど』

『なら見せてくださいよ』

『ううう、往生際が悪い人ですね』

どうしてそんなに隠そうとするんです』

『別にいいじゃないですか』

『私は嬉しいですよ？』

先輩が今日をどれだけ楽しみにしてくれてたのかわかって』

『私だってほんとはすっごく楽しみだったんです』

『あの時先輩を煽っちゃいましたけど、今日本当はデートのつもりで誘いましたし』

『だから先輩？』

次からは正直に白状して、お互い素直に楽しくデートしましょう』

『なに驚いた顔してるんですか』

次もデートするのは当たり前です』

『こんなこと女の子に言わせないでください』

『…ふう』

もう、分かれ道、ですね』

『名残惜しいですが、  
帰ってから電話とかできますし、  
今日のところはきゅっ』

『せせせ先輩!?  
腕を掴まれたら帰れないですよ!』

『そ、それって今すぐじゃなきゃだめ、なんですか?  
どうしても?』

『はぁ、わかりました  
聞きます、聞けばいいんですよね』

『ではまず話を話してください  
このままだとその…恥ずかしいです』

『それで先輩  
話ってなんですか』

『そんな真面目な顔して、  
まるで今から告白するみたいじゃないですか』

『…』

『え、うそ  
ま、待ってください!  
ダメです!今は、まだ…』

『すみません、先輩』

『告白は私の早とちりかも知れませんが、もしそうならお返事はできません』

『…あ、ごめんなさい  
そんな顔させるつもりじゃ…』

『せんぱっ

ああいや、今日はもう帰りますね!』

『また明日学校で!』